

## 令和5年度事業の状況

### 1、事業の状況

#### (1) 妻籠宿保存のための調査・研究・指導・援助に関する事業

- ① 保存地区内における現状変更行為申請書の受付事務及び毎月定例的に統制委員会を開き、次に示す現状変更申請事項の審議を行った。

##### 4月20日・審議事項

玄関引戸改修	1件	
駐車場屋根修繕	1件	
倉庫除却	1件	
群状択伐	1件	
備品倉庫新築	1件	
引込線張替	1件	
引込線新設	2件	計 8件

##### 5月22日・審議事項

小屋除却及び石積工	1件	
低圧線の新設工事	1件	
低圧線の撤去	1件	
住居除却	1件	
電柱及び電線の移設・新設・張替	1件	
倉庫堰板・破風板等修繕	1件	
災害復旧工事	1件	
電柱建替え工事	1件	
群状択伐	2件	
街灯の改修	1件	
防護管取付	1件	
出窓・板塀修繕	1件	計 13件

##### 6月20日・審議事項

住居除却	1件	
引込線張替	1件	
電話柱新設・ケーブル新設	1件	
群状択伐	3件	
蘭川支障木伐採事業	1件	
土蔵屋根下地工事	1件	計 8件

7月20日・審議事項

歩道拡幅工事	1件	
道路法面立木伐採及び枝払い	1件	
屋根塗装・板塀修理工事	1件	
ラバーポール設置工事	1件	
蘭川護岸災害復旧工事	1件	計 5件

8月21日・審議事項

木製壁改修	1件	
ガードレール設置	1件	
電話柱新設・撤去及び架空ケーブル移設	1件	
雨漏り応急工事	1件	
群状択伐	2件	
開閉器取替	1件	
引込線張替及び新設	1件	
看板・暖簾の設置	1件	計 9件

9月20日・審議事項

仮設電源用電線設置	1件	
仮設備設置	1件	
樹木伐採	1件	
支障木伐採	1件	
仮引上げ柱新設工事	1件	
町道中山道道路災害復旧工事	1件	
屋根瓦の積み直し等	1件	
コンクリート歩道	1件	計 8件

10月20日・審議事項

電柱移設・新設及び電線新設・張替	1件	
電線移設工事	1件	
妻籠クリーンセンター正面門扉修繕	1件	
上水道管及び下水道管仮設工事	1件	
群状択伐	2件	
堰板・雨樋取替及び外壁塗装	1件	
樹木伐採	1件	
引込線新設	1件	
道路改良工事	1件	計 10件

11月20日・審議事項

防護柵取替	1件	
転落防止柵・ロープ設置	1件	
災害復旧工事（護岸復旧）	2件	
外壁塗装工事	1件	計 5件

12月20日・審議事項

耐候性シート設置	1件	
住居除却	1件	
国道256号維持工事	1件	
支障木伐採	1件	計 4件

1月22日・審議事項

引込線新設	1件	
支障木伐採	1件	
電柱新設及び電線撤去・新設	1件	計 3件

2月20日・審議事項

護岸改修工事	1件	
車庫除却	1件	
屋根保護塗装	1件	
保線路階段の補修	1件	
鉄塔敷地の保護工事	1件	計 5件

3月22日・審議事項

群状択伐	3件	
筍伐採	1件	
重伝建補助事業	2件	
庇屋根修繕	1件	
仮支線新設工事	1件	
東屋設置・公衆トイレ塗装	1件	
引込線新設	1件	
引込線張替	1件	
災害復旧工事	1件	
倉庫設置	1件	
車庫新築	1件	計 14件

合計 92件

## ② 防災施設の点検の実施

宿場内にある消火栓の点検作業について、当初12月に予定していたが雨のため延期となり、年度末の3月7日に行った。総務委員会を中心に妻籠観光協会、南木曾町教育委員会と協働し、15名が参加した。1月26日の文化財防火デーは、「消火栓放水訓練と防火についての講和」を計画した。今季最低気温のため水出し訓練は行わず放水までの初期訓練を木曾消防署南分署職員と地元消防団員の指導により行った。引き続き南分署職員による防火についての講和を愛会ホールにて行った。44名の参加があった。

## ③ 全国町並みゼミへの参加

今年度の町並みゼミは10月13～15日に小樽市で開催されたが、昨年引き続き今回も不参加となった。

## (2) 建築物の保存及び景観を守るために必要な維持管理・環境保全事業

- ① 「一石栃立場茶屋」建物の維持管理、及び近辺の草刈等を行った。無料休憩所として通年開放し、管理人を置き馬籠峠を歩く旅人を接待した。また、アンケート調査を行い、要望等を集計した。これをもとに次年度以降の観光客へ配慮したより快適な観光地づくりをめざしたい。一石栃立場茶屋の水源調査及び清掃を定期的に行い、安定した水の供給に努めた。囲炉裏で焚く薪の調達と薪割作業を定期的に行った。
- ② 「一石栃白木改番所」近辺の草刈、除草剤の散布及び子安観音への経路の草刈を行い、自然環境と景観整備のために植栽したイロハモミジの追加肥料等景観維持に努めた。
- ③ 「愛会尾又屋」を田立和紙紙漉き工房として活用している。
- ④ 「まつや」については、観光客が施設を利用中、安心してゆっくり散策できる環境づくりに努めているが、今後観光客の増加に期待している。また周辺の草刈等を定期的に行い維持管理に努めた。
- ⑤ 「旧田原家」は財団の役員会、下町のサロン、老人クラブ等有効に活用することができた。
- ⑥ 所有する建物の維持管理と保存事業の継続のため、尾又の旧田原家を旅行会社の妻籠営業所として貸し出しを継続している。
- ⑦ 6月に空き家対策特別委員会を立ち上げ、空き家の状況・下水道等を調査し、活用等について検討した。町の担当者より町の状況・施策等の報告を受けるなど、計5回開催した。来年度は空き家取得と活用について検討する予定である。

## (3) 文化財の公開に必要な諸施設の設置と、その維持管理に関する事業

- ① 妻籠城址の草刈、清掃作業、登山道の整備等維持管理に努めた。また、宿場内の水車小屋周辺、口留番所等の立木の枝払い等の作業を行い景観の維持管理に努めた。
- ② ホームページにて、活動報告、広報「妻籠宿」等情報発信に努めた。
- ③ 平成24年度元気づくり支援金事業において整備した古い農機具を、昨年度までにさらに充実し、一石栃立場茶屋でハイカーに「縄縷い」と「薪割」体験を継続して行うことができた。
- ④ 道標・案内看板の点検見直しと更新を行なった。

(4) 文化の向上を図るための調査・普及に関する事業

- ① 広報「妻籠宿」を4回発行し、妻籠地区全区民に配布するとともに、関係機関・友好団体、空き家持ち主、希望者へ幅広く送付した。
- ② 保存開始より継続して開催してきた「文化文政風俗絵巻之行列」は、新型コロナ感染拡大対策防止のため中止・縮小を余儀なくされていたが、本年度第56回は晴天の下、例年通りの規模に戻し、外部参加者も一緒に開催することができた。実行委員も含め168名が参加した。
- ③ 第46回「妻籠冬期大学講座」を2月3日に妻籠町並み交流センターで開催した。岸本豊氏による「伊能忠敬の第七次測量と広重英泉の木曾街道六拾九次」の講演会を行い、56名の聴講があった。
- ④ 「妻籠宿案内人の会」の事務局及び学習会の支援等を行った。
- ⑤ 衣装管理部員を中心に、行列衣装の整理虫干し等を定期的に行うとともに、行列用衣装貸出準備と共に自主的な着付け練習を企画、行列当日は衣装部員を中心に早朝より出演者への着付を行った。
- ⑥ 本年で18回目となる狼煙あげを広く木曾郡内にも呼び掛け、快晴のもと、南木曾町6か所を始め、北は塩尻市東地区から南は馬籠峠までの全17か所218名の参加があった。今後は木曾谷全体の狼煙リレーが課題項目となっている。

(5) 文化財と一体をなす自然環境の保護に関する事業

- ① 財団所有の尾又地区景観保護地にあるミツバツツジ・イロハモミジの追肥料、下草刈等の手入れを行い保護管理に努めた。
- ② 妻籠城址の登山道の環境整備に努めた。
- ③ 特定外来生物のオオキンケイギク・アレチウリ・オオハンゴンソウ・セイタカアワダチソウ等の除去作業を環境保全委員が中心となり観光協会の若者及び愛友会の協力を得て行い、妻籠地区の環境整備に努めた。

(6) 重要伝統的建造物群保存地区内において公開に必要とする事業の受託

- ① 町営駐車場の管理受託事業を継続し、公益事業に資することができた。また、利用者へのサービス向上を図ると共に、周辺の環境整備に心掛け、草刈・花植え等積極的に美化に努めた。
- ② 旧妻籠中学校の管理受託を行い、校舎内及び周辺の清掃と環境整備に努めた。
- ③ 文化財としての景観維持に努め、メディアによる撮影についてはその質を向上するため、撮影許可審議委員会において事前にチェックし、アドバイスをを行った。審議件数は28件だった。

(7) 関係機関、連携団体との集落保存、自然景観の保護、地域づくりに関する事業

- ① 大桑村須原で開催された木曾風景街道推進協議会総会に2名参加した。令和3年度より藤原理事長が会長を務める。木曾風景街道推進協議会主催の中山道研修会に8名参加し、岡谷蚕糸博物館、下諏訪宿、諏訪大社下社を見学した。7月に木曾町開田高原で開催された「外来植物駆除作業及び講習会」に2名が参加した。また、2月に蘭で行われたてんぐ巢病駆除作業に愛会より3名が参加した。

② その他の関係団体との交流

〈藤原義則理事長対応〉

- ・(公社) 日本ナショナル・トラスト協会
- ・地域づくりネットワーク長野県協議会
- ・木曽観光地域づくり戦略プロジェクト会議
- ・長野県インバウンド推進協議会
- ・日本遺産「木曽路」事業検証・検討委員会
- ・NPO 法人全国町並み保存連盟
- ・信州豊かな環境づくり県民会議
- ・木曽谷狼煙あげ連絡会
- ・信州歴史的まちなみネットワーク
- ・南木曽町リニア中央新幹線対策協議会

〈横山純常務理事対応〉

- ・妻籠宿保存地区審議会
- ・木曽路氷雪の灯祭り実行委員会
- ・妻籠観光協会
- ・南木曽町リニア中央新幹線対策協議会

(8) 前号までに掲げるもののほか、前号までの目的を達成するために必要な事業

- ① 中央駐車場の経営・管理事業を継続し、10月の新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行に伴い、マスク着用と手指消毒は継続しながら駐車場利用者へのサービス向上に努め、公益事業に資することができた。また、周辺環境整備に心掛け、草刈・花植え等積極的に美化に努めた。利用客はコロナ禍前に戻りつつある。
- ② 「木犀庵」を風俗行列の衣装管理やその他会議等に幅広く活用した。また、年間を通して周辺の草刈り作業等環境整備に努めた。
- ③ 「第41回南木曽町・妻籠健康マラソン」開催に協力し、大会の成功に寄与した。
- ④ テレビ撮影・書物での紹介等妻籠宿に適合した企画に対し協力と適切な指導を行った。
- ⑤ 第50回新春放談会を1月4日に開催し、町長・教育長以下17名の参加があった。
- ⑥ 南木曽町リニア中央新幹線対策協議会に理事長と常務理事が参加した。
- ⑦ コロナ禍の中、2020年度日本財団より補助金交付を受け、一石栃立場茶屋と事務所入口及び町営第1駐車場管理棟に設置した体温検知器及びアクリルガードにより、新型コロナウイルス感染拡大に留意しながら活動を継続することができた。
- ⑧ 「信州歴史的まちなみフォーラム 2023in 妻籠宿」の開催にあたり、6月に実行委員会を立ち上げ、信州歴史的まちなみネットワーク会員をはじめ、地域住民や関係機関にチラシ・広報誌等を通じて参加を呼びかけ、9月9・10日に開催し、総勢95名の参加があった。9日はまちなみ見学会と5名の講師による「歴史を生かしたまちづくり」と題したフォーラムを行った。10日はオプションツアーとして馬籠峠頂上から案内人同行のハイキングと一石栃立場茶屋での農機具体験を行った。開催にあたり元気づくり支援金事業の補助金を受けた。